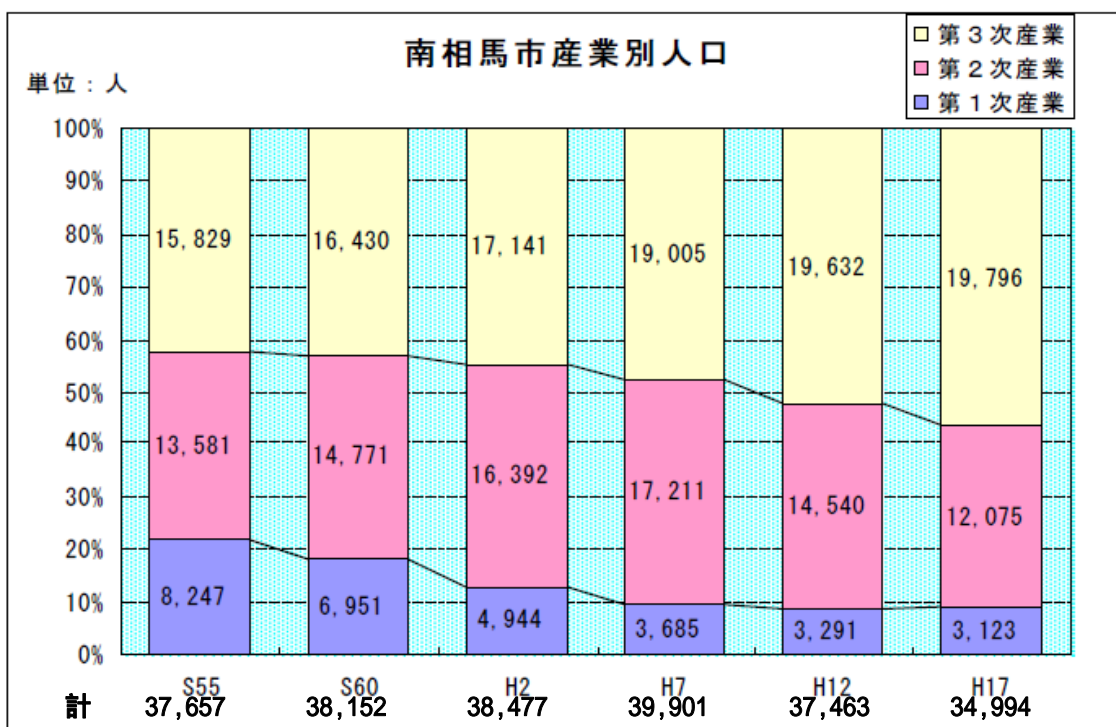


産業別人口

就業人口全体をみると、減少傾向にあることがわかる。産業別人口では、第一次産業と第二次産業がともに減少傾向にあるが、特に第二次産業は平成7年と平成17年の国勢調査結果を比較すると8.6ポイント減少している。



出典：国勢調査

出典：南相馬市「まちDス2007」

3) 産業

農業

南相馬市は、真野川、新田川、小高川の豊かな恵みのもと、水稲や畑作を中心とした農業を基幹産業として発展してきた地域である。しかし、輸入農産物の増加や米の消費低迷による生産調整の恒常化、さらに後継者不足などの数々の問題に直面している。

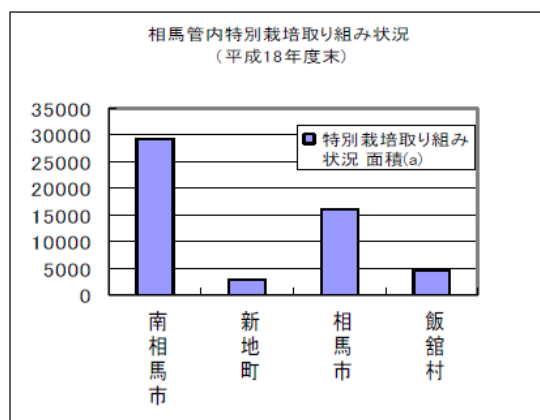
そのような中、農業従事者は、食の安全を求める消費者の声にこたえ、環境に配慮し減農薬・無農薬栽培に積極的に取り組み、他産地との差別化を図っている。

また、農家民宿として都市の宿泊者を受け入れ、農業体験などを通じて交流を深めており、定住希望者の体験としても好評である。

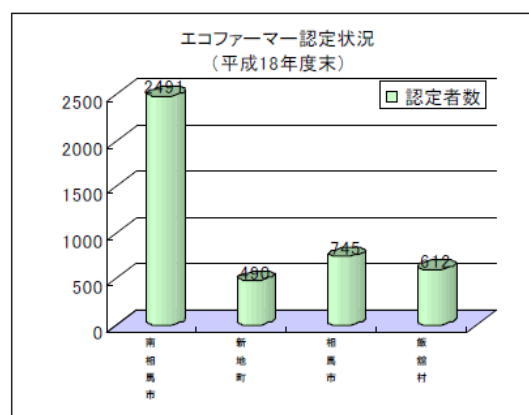
専兼業別農家数

	全世帯数	農家数	専業農家数	兼業農家数		農家率 (%)
				総数	一種兼業	
小高区	3,811	1,018	80	938	124	26.7
鹿島区	3,389	1,061	104	957	90	31.3
原町区	16,156	1,578	174	1,404	205	9.8
合計	23,356	3,657	358	3,299	419	15.7

出典：2005年農林業センサス



出典：農林水産課資料



出典：農林水産課資料

出典：南相馬市「まちDス2007」

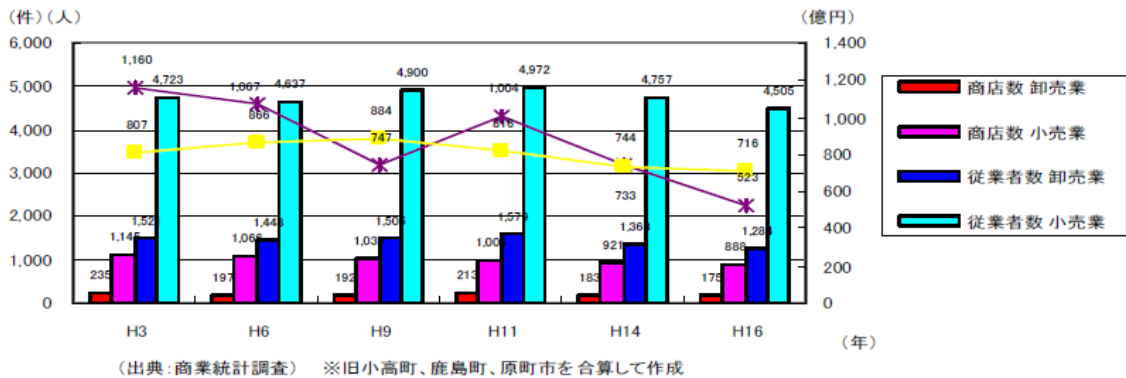
商工業

南相馬市は、浜通り地方北部で最大の産業・経済集積地である。特に金属・機械関連製造業者（一般機械器具製造業）の多くが特殊で優れた技術を有している。また、繊維縫製業も、高い技術力に定評がある。市では、既存産業との連携を図りながら、企業支援制度を活用した誘致に努めている。

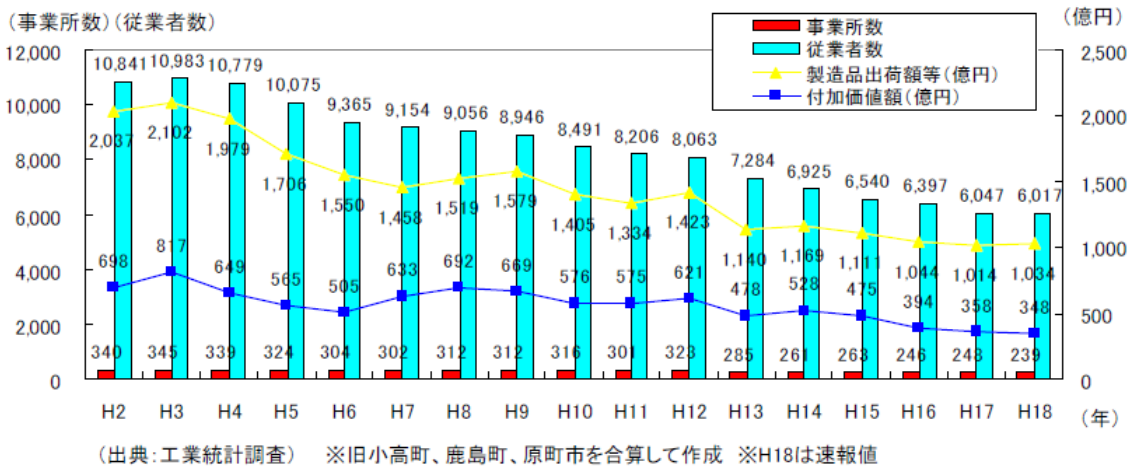
また新産業の創出や起業家・創業者の総合的な育成・支援を担い、南相馬市の産業を活性化しようと『ゆめサポート南相馬』が設立された。ここを拠点として、産学官の連携、異業種間の交流、安定した企業経営の支援などを行い、着実に実績を挙げている。

車社会の進展によって、幹線道路沿いの大型商業施設が増加しているため、従来の商店街に活気を取り戻すよう、各区が工夫を重ねている。空き店舗の有効活用やポイントカードの導入、共通駐車場の整備など、地道な取組みを積み重ね、消費者の利便性を高める取組みを行っている。

卸・小売業別の商店数・従業者数及び年間販売額



事業所数、従業者数、製造品出荷額等、付加価値額の推移(従業員4人以上)



出典：南相馬市「まちDス2007」

南相馬市における主な立地企業

- | | |
|-------------------|---------------------|
| ・ 大内新興化学工業(株) | ・ 加藤建材工業(株) |
| ・ 金門金属工業(株) | ・ 東和工業(株) |
| ・ 日本デルモンテ(株) | ・ (株)菅野漬物食品 |
| ・ 三和化学工業(株) | ・ (株)以輪富 |
| ・ タニコー(株) | ・ (株)T T K |
| ・ 丸三製紙(株) | ・ 日本物流器機製造(株) |
| ・ 日本オートマチックマシン(株) | ・ (有)鹿島製作所 |
| ・ ノボル鋼鉄(株) | ・ (株)友伸エンジニアリング |
| ・ (株)日立工機原町 | ・ 東北エコ・テクノ(株)鹿島工場 |
| ・ 日立原町電子工業(株) | ・ 佐川急便(株) |
| ・ 藤倉ゴム工業(株) | ・ 相馬秩父生コン(株) |
| ・ (株)三恵クレア | ・ (株)タンポポ村 |
| ・ マイアス電気(株) | ・ (株)ディーア |
| ・ (株)栄製作所 | ・ エプソントヨコム(株) |
| ・ 明治テック(株) | ・ (株)D N P ファインケミカル |
| ・ 東北サッシ工業(株) | ・ (株)日昌製作所小高工場 |
| ・ 鹿島総業(株) | ・ (株)三尾製作所福島工場 |
| ・ (株)福装鹿島 | |

出典：福島県市町村要覧2008

4) 生活

公共施設

南相馬市では、各区にホールを備えた文化施設が整備されており、市民参加型の文化活動が盛んである。また9つの生涯学習センターを始めとする施設があり、誰もがいつでも気軽に学習できる環境を備えている。

また、今後さらに高齢化が進むなか、より効率的に地域で介護予防を進めていくため、健康増進やレクリエーション目的の老人福祉施設も各地区に存在する。地域住民の健康増進を目指した、多世代・多種目の地域スポーツクラブも盛んに活動し、市内のさまざまなスポーツ施設を拠点にしている。

さらに相馬野馬追などの伝統文化、海と山の観光産業をはじめとし、市の特徴を活かした公共施設も多く存在している。

南相馬市内の公共施設

生涯学習施設	
小高区	浮舟文化会館 (小高生涯学習センター) 小高就業改善センター 小高コミュニティセンター
鹿島区	鹿島生涯学習センター (さくらホール) 鹿島農村環境改善センター (万葉ふれあいセンター)
原町区	南相馬市文化センター 原町生涯学習センター 太田生涯学習センター 大甕生涯学習センター 高平生涯学習センター 石神生涯学習センター ひがし生涯学習センター ひばり生涯学習センター 勤労青少年ホーム
生涯学習施設(図書館・博物館等)	
小高区	小高図書館 埴谷・島尾記念文学資料館
鹿島区	鹿島図書館 鹿島歴史民俗資料館
原町区	原町図書館 南相馬市博物館

医療・福祉施設	
小高区	南相馬市立小高病院 小高保健福祉センター 小高老人福祉センター 小高区福祉サービスセンター ことぶき荘
鹿島区	鹿島保健センター 第1デイサービスセンター 鹿島区福祉サービスセンター 第2デイサービスセンター 生きがいセンター
原町区	南相馬市立総合病院 原町保健センター しらゆり訪問看護ステーション 南相馬市社会福祉協議会 原町区福祉サービスセンター 高松ホーム 原町老人福祉センター

スポーツ施設	
小高区	小高中部運動場 小高東部運動場 小高西部運動場 小高体育センター 小高片草運動場
鹿島区	鹿島体育館 千倉体育館 前川原体育館 牛島体育館 鹿島B&G海洋センター みちのく鹿島球場 千倉テニスコート 千倉グラウンド 前川原グラウンド 南海老グラウンド 南相馬市スポーツセンター 南相馬市野球場 南相馬市民プール 南相馬市サッカー場 南相馬市相撲場 南相馬市テニスコート 雲雀ヶ原陸上競技場 夜の森公園テニスコート
原町区	原町ふれあいドーム 北新田第1運動場 北新田第2運動場 北新田野球場 小川町体育館 栄町柔剣道場 南相馬市弓道場 南相馬市勤労青少年ホーム 南相馬市馬事公苑

その他主な施設	
小高区	ふれあいハウス及び 村上キャンプ場
鹿島区	南相馬市まごころセンター (ボランティア地域支援センター) 南相馬市牛島パークゴルフ場
原町区	野馬追通り銘醸館 道の駅南相馬 南相馬市農村活性化施設 (ハートランドはらまち) 南相馬市馬事公苑 サンライブ南相馬 南相馬市労働福祉会館 北泉海浜総合公園 原ノ町駅前駐輪場 原ノ町駅前自動車駐車場 原町斎場

出典：南相馬市HPより作成

参加・協働

多様化する地域住民の価値観、切迫した行財政運営の現状からも、今後のまちづくりにおいては、コミュニティビジネスや社会企業家、NPO法人、ボランティア団体など、行政の施策を待つだけではなく、自ら解決方法を見出し、地域を再生しようとする取り組みが期待されている。

福島県においては、平成15年3月に「福島県におけるNPOとの協働に関する指針」、平成16年3月に指針に基づいた「NPOとの協働の手引き」を策定し、協働を推進してきた。さらに平成19年2月に「ふくしま協働推進プログラム」において、NPOとのより一層の協働の推進に向け、手引きの内容を発展させ、県における協働推進のための具体的な方策や協働のルールについて職員に示し、NPOと行政の協働推進についての全庁的な共通認識の浸透と今後の協働による地域づくりの推進を図っている。

南相馬市においても、市民団体の活動範囲が広がっており、NPO登録件数は年々増えている。今後はさらに行政と市民の協働と適切な役割分担が望まれる。

南相馬市におけるNPO団体

平成20年11月21日現在

南相馬市内の認証NPO法人	認証年月日
特定非営利活動法人みどりと花の大地学園	H11.9.14
特定非営利活動法人ライブラリー小高訪問看護ステーション	H12.3.23
特定非営利活動法人ふれあいらんど	H12.3.29
特定非営利活動法人介護福祉組合	H12.7.4
特定非営利活動法人介護支援協会	H12.9.11
特定非営利活動法人福島県環境エネルギー共生機構	H14.7.22
特定非営利活動法人相双NPOセンター	H15.8.1
特定非営利活動法人鹿島ネットワーク	H16.1.5
特定非営利活動法人浜通りヴィヴィドリーサポートセンター	H16.1.5
特定非営利活動法人はらまち21研究所	H16.2.4
NPO法人はらまちクラブ	H16.3.23
特定非営利活動法人鹿島ふきのとう	H16.10.13
特定非営利活動法人あさがお	H16.12.7
特定非営利活動法人ほっと悠	H17.3.23
NPO法人ポニーハウス	H17.5.30
特定非営利活動法人自然環境応援団	H17.10.26
特定非営利活動法人MMサポートセンター	H17.12.22
特定非営利活動法人ハッピーアイランドサーフツーリズム	H18.3.29
特定非営利活動法人さぼーとセンターぴあ	H18.5.25
特定非営利活動法人はらまちひばり	H18.9.1
特定非営利活動法人かけはし	H20.3.27
NPO法人実践まちづくり	H20.5.7
特定非営利活動法人ご本陣山を活かす会	H20.9.29
特定非営利活動法人はらまち交流サポートセンター（内閣府認証）	H16.2.6

出典：南相馬市提供資料より作成

(2) 行政の状況

1) 組織体系

市町村合併にあたっては、旧市町の実情に即し、かつ新市にふさわしい組織体制で行政を執行するため、本庁を置き、更に旧3市町にそれぞれ区役所を設置した。

特に合併の理念及び新市の将来像の具体化を図るため、旧3市町を単位とする地域自治区を設けた。この地域自治区は、身近な住民サービスを提供する区役所と、これに連携する住民組織の地域協議会で構成されている。

本庁・区役所の役割・権限と組織

本庁は、新市の発展を目指し、新市全体の行政施策の企画立案、財政運営と予算配分、重点プロジェクト及び一体的事業の執行、組織機構の人事と管理、条例規則等の整備及び地域間の総合調整を担っている。

区役所は、地域振興に向けた施策の展開及び住民の身近な行政サービスを担うものとし、これまで旧市町が行ってきた行政サービスのうち、地域住民に対する直接的なサービスについては、新市でも継続して行っている。このため、区役所には、一定の予算配分と必要な職員を確保している。

地域自治組織制度

行政は住民に身近なところで住民の意向を踏まえつつ、その事務を適切かつ効率的に処理する観点が重要である。

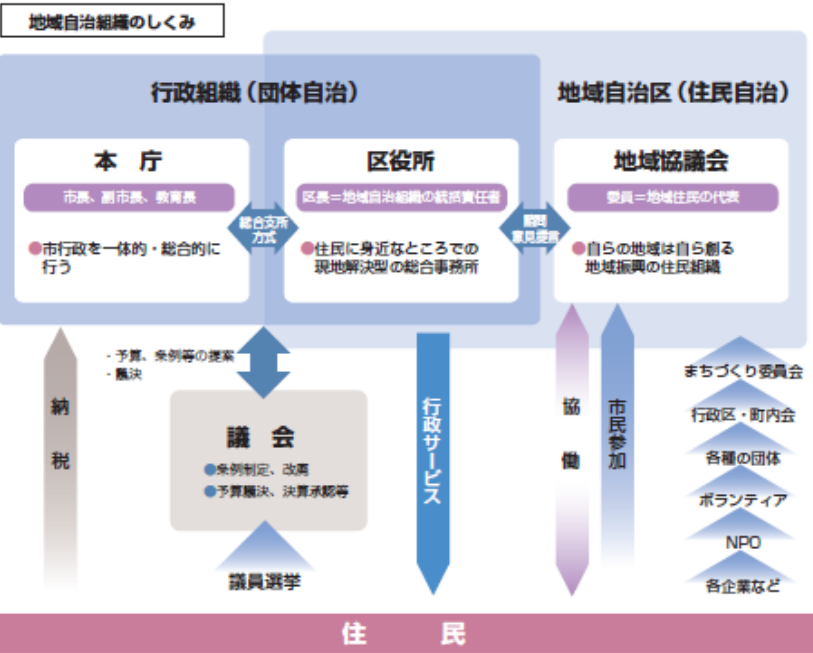
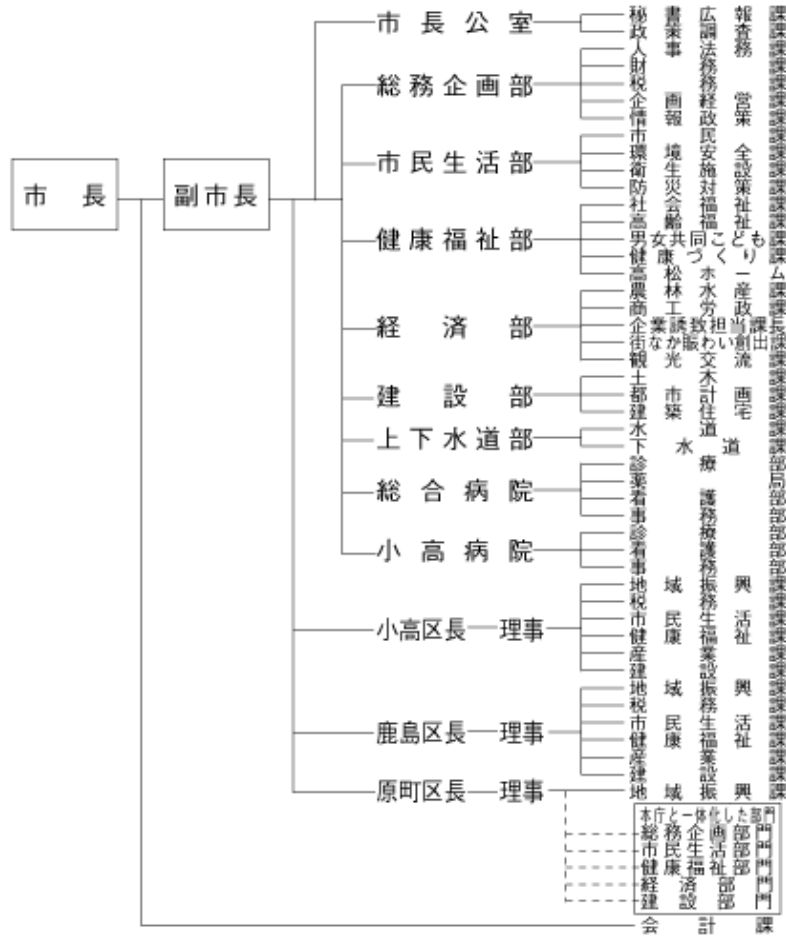
こうしたことから行政と住民が相互に連携し、ともに担い手となって地域づくりを進めるため、地域自治区（区役所と地域協議会）を設けている。

地域自治区は旧市町の区域を単位として設け、新市の行政執行機関としての区役所を置くもので、団体自治としての行政執行とともに、その地域の行政はその地域住民の意思によって自主的に処理される住民自治を進めている。具体的には、地域振興計画の策定と進行管理、予算原案の作成、区役所業務の改善、基金による地域独自事業の推進となっている。

地域協議会は、住民自治の推進と地方分権社会に対応した地域コミュニティの確保を目指す住民組織とし、地域自治区運営に係る総合的な協議機関として協働のまちづくりを図っている。

地域自治区には、市長の補佐役、担当する地域事務の総理役、かつ新市の運営方針、需要施策の決定に参画できる特別職としての区長を置いている。

庁内組織図



出典：南相馬市市勢要覧

2) 職員の状況

合併前の旧小高町、旧鹿島町、旧原町市の職員が、南相馬市の職員へと移行した。新市当初の組織として、本庁については、旧3市町の職員で構成することとした。

議員に関しては、激変緩和の措置及び合併を協議してきた議員は、新市の状況を確認することが重要であるとし、在任特例措置により合併時は法定上限30人を超える57人であったが、現在では26人となっている。当時の町長、助役、収入役は旧鹿島町長が新市の市長職務代理者、旧原町市長が新市長に就任した以外、すべて退職している。

一般職員については、平成17年度(平成18年1月1日の合併時)936人、平成18年度(4月1日現在)931人、平成19年度(4月1日現在)926人、平成20年度(4月1日現在)926人となっている。平成20年12月1日現在では、正職員907人、嘱託職員197人、臨時職員319人の合計1,423人が業務を行っている。

南相馬市組織別正職員数

(人)

本庁	市長公室(2課)	10	小高区役所	地域振興課	46
	総務企画部(5課)	80		税務課	
	市民生活部(4課)	59		市民生活課	
	健康福祉部(4課、他1)	67		健康福祉課	
	経済部(4課)	36		産業課	
	建設部(3課)	49		建設課	
	会計課	9	鹿島区役所	地域振興課	49
	上下水道部(2課)	38		税務課	
	総合病院(4部局)	199		市民生活課	
	小高病院(3部局)	50		健康福祉課	
	訪問看護ステーション	3		産業課	
その他	教育委員会	189		建設課	
	その他	19	原町区役所	地域振興課	4
				職員合計	907

出典：南相馬市提供資料より作成